



子育てフォーラム青木2017

～自尊感情を育てるには？ 家庭で大事にしていること～

保小中一貫教育委員会事務局 北垣内 博（青木小学校教頭）

保小中一貫教育委員会での取り組みは、青木村の教育目標「心豊かでたくましい子どもの育成～社会力（生きる力）を育てる～」を目指し、今年度13年目を迎えました。

11月25日（土）には、「みんなで、話そう、ふれあおう。みんなにきりり輝くよさがある。『自分のよさ』をいっしょに確かめてみませんか？」をキャッチコピーに今年度の取り組みについて報告したり、子育てについて考えたりする「子育てフォーラム2017 in あおき」を開催しました。当日は、村内外より120名余りの皆さんにご参加いただきました。子育てを通して、家族のつながり、地域のつながり、学校でのつながり…子どもたちとの「つながり」を一層、強固なものにするよい機会となりました。その様子についてご報告させていただきます。

1 開会行事について

全体テーマの「自尊感情の育成」に沿って、5か条委員会は「自尊感情を育てるには？」、子育て委員会は「家庭で大事にしていること」をテーマとし、全体会で発表していただきました。それぞれアンケート調査を実施し、結果を考察して今後の子育て（子どもとのかかわり）や取り組みについて提案していただきました。



いろいろな家庭の意見が聞けて、参考になりました。どの家庭でもあおきっ子5か条に基づいて、子どもの自尊感情を高める努力をしているので、家庭、地域、学校が連携して、更に子どもの成長に積極的に関わっていきたく感じました。（保護者の方）

2 講演会について

NPO 法人 子ども・人権・エンパワメント CAP ながの代表、長野県教育委員の矢島宏美さんを講師としてお招きしました。演題「子どもの心に寄り添うために～あなたは大切な人だよ～」のもと、CAPながのでの活動を通して、出会った子どもたちのリアルな体験をもとに私たち大人が考えなければならないこと、子どもたち一人ひとりをしっかりと支えていかなければならないことなどを語ってくださったことは、多くの皆さんの心に深く残っていると思います。



お話を聴くことができ、本当に良かったです。「100%子どもの側に立つ」という言葉がとても印象に残りました。私は、きちんと子育てをしたいという気持ちからか叱ることが多かったと思います。そのままの子どもを受け止めてやれず、なかなか自尊感情を育ててあげられなかったと後悔しています。青木村の一員として、子どもに関わる時、心から子どもの声を聴いてあげられるようにしていきたいと思います。(地域の方)

3 アトラクションについて

アトラクションでは、今年度も小学校の金管バンドと中学2年生の皆さんより素敵なハーモニーをご披露いただきました。子どもたちの真剣な表情に思わず胸が熱くなったり、フォーラムの主役である子どもたちからたくさんの感動をいただいたりしました。休日に参加してくれた小中学生の皆さん、ありがとうございました。



金管バンドのキレのある演奏とても素晴らしかったです。迫力がありませんでした。毎年、上手になっていると思います。中学2年生の合唱は、人数が少ない学年にも関わらず、大きな声が出ていて口もよく開いていました。とても真剣に歌えていました。成長を感じました。(地域の方)

4 分科会について

今年度は、「保小連携委員会」「小中連携委員会」「特別支援教育委員会」が中心となって3つの分科会を開催しました。限られた時間ではありましたが、多くの方々の思いやご意見をお聞きする機会となりました。各分科会のテーマは、以下の通りです。

第1分科会 「自分の時間ありますか？」

～育児・家事・仕事の両立 皆さんどうしてる？～

第2分科会 「どうする？保護者の中1ギャップ！！」

第3分科会 「こんなとき、こうしてみたら？」

～子どもたちの気になる行動をどう切り替えるか～



普段から自分の時間はないと思っていましたが、子育てが自分の時間であると気づきました。(保護者の方)



学校の都合は、よく分かっているとは思いますが。部活は文化という言葉は、ありがたく感じました。支援者といったときに、どのようなことがあるのか、オープンになってくるともっと良いと思いました。(保護者の方)

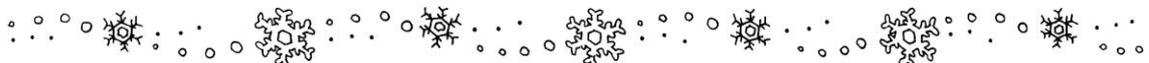
…先生方の寸劇があり、自分で考える場面があり、あっという間に時間が過ぎました。問題になる行動は何かを考え、前後の対応を変えながら困ったことを解釈していきたいと思いました。(保護者の方)

私たちは「ふるさと青木村を愛する子ども」を育てていきたいと考えおります。これからも実践を積み重ね、さらに充実した14年目の活動につなげたいと思います。今後とも保護者、地域の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

最後に、閉会行事にて若林美桜さんの高等学校における学習成果の発表を聴いてくださった方のご感想を紹介し、「子育てフォーラム2017 in あおき」の報告と致します。



発表はよく考えられていて、堂々としていてひたむきで素晴らしかったです。これからの青木を、世の中を背負っていく子どもたち。こんな素晴らしい子どもが育っていて、本当に楽しみです。(地域の方)



5か条委員会発表

～自尊感情の育て方～

＜保小中一貫教育5か条委員会＞

5か条委員会は、本年度の「子育てフォーラム青木」の開会行事の中で「自尊感情の育て方」についての発表をおこないました。

発表の柱となったのは、9月下旬から10月の初旬にかけて、保小中の保護者の皆様にご記入いただいたアンケートの結果でした。（同アンケートでお聞きした「あいさつについて」、「家ででの時間の使い方について」の結果は、文化会館の1階に展示発表しました。）以下は、発表内容の抜粋です。

① ご家庭内の親子の会話で、よく話題になる内容はなんですか？

一番多かった回答が「園や学校でのできごと」、続いて、「趣味等の共通の話題」でした。

② ご家庭内で、親子で会話するときはどんなときですか？

一番多かった回答が「食事のとき」、続いて、「特に決まった時間はない」でした。

※①と②に関しては、どんな内容、どんな時間というよりも、子どもの話をよく聞くことが、子どもの存在を認めることに他ならないと考えました。

③ のI ご家庭での、お子さんの褒め方の具体例やポイントを教えてください。

アンケートでは内容が多くありましたので、当日のパワーポイントの発表をここに載せます。



③ ご家庭での、お子さんの褒め方や叱り方の具体例やポイントを教えてください。(記述式)

＜褒めるとき＞

(1) 言葉だけでなく体も使って！！

- ・言葉だけでなく、頭をなでたり、ぎゅっと抱きしめたりして褒める。(保)
- ・とにかく思いっきり褒める。(保)
- ・褒めるときはスキンシップ(頭をなでる、ハグする)をいれる。(小)
- ・声をかけながらハイタッチし、共に喜ぶ。(中)



③ ご家庭での、お子さんの褒め方や叱り方の
具体例やポイントを教えてください。(記述式)

＜褒めるとき＞

(2) プロセスを(も)褒める！！



- ・結果よりも取り組む姿勢を褒める。(保)
- ・結果ではなく、努力などの過程を褒める。(小)
- ・以前と比べ、〇〇がよくなったなど、その成長過程を褒める。(小)
- ・褒めるときは、そこまでの努力なども褒める。(中)

③のⅡ ご家庭での、お子さんの叱り方の具体例やポイントを教えてください。

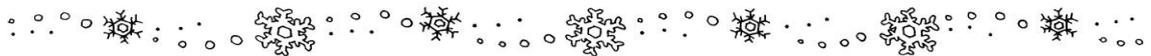
- (1)『叱る基準をもつ！』 (2)『100 全てを言わずに5～7割に抑える！』

③のⅢ お子さんの自尊感情が育つときはどんなときだと思われますか。

- (1)『温かい家族の存在！』 (2)『頑張りを認められたとき！』
(3)『以前(昔)の失敗を乗り越えたとき！』

と、キーワード的にまとめて発表しました。

※アンケートの実施に際しては、多くのご家庭にご協力いただきましてありがとうございました。今後も5か条委員会に、ぜひ、ご意見をお寄せください。



子育て委員会発表

～家庭で大事にしていること～

＜保小中一貫教育子育て委員会＞

子育て委員会では、「家庭で大事にしていること」と題してアンケートをとり、懇談会で話題にしながら結果を集計して、子育てフォーラム2017で発表・展示を行いました。そこでは、アンケート結果をいくつかの観点で分析、比較した結果を紹介しました。



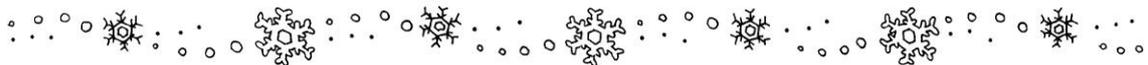
全体を通して意見の多い順にまとめると、①あいさつをする。②会話を大切に子どもの話を聴く・一緒に時間を過ごす③食事はできるだけ家族全員でとるようにする。④お手伝いをする。⑤メディアの制限として「食事中はテレビを見ない」「ゲームは時間を決めて行う」等となりました。

また、アンケートに寄せられた多くの意見は『あおきっ子教育ポイント5か条』の

中身と関係していることがわかりました。これは、青木村の試みが各家庭に浸透し、根づいてきた成果だと思われます。

回答者別にみると、母親の意見が一番多かったわけですが、これは、一番子どもとの関わりが多いのが母親であり、改めて母親の存在の大きさを認識しました。父親は、なるべく子どもとの時間を作り、会話や遊び、運動に関わろうとしていることがわかりました。祖父母は、人様に迷惑をかけないことや礼儀やマナーを重んじている傾向から、より地域との結びつきを大事にしていることが推測されました。また、孫と一緒に畑の仕事をしたり、気づいたことを褒めたりしてくれることから、孫の居場所、より所となる存在であることもわかってきました。

今回のアンケートや発表を通して、他の家族の考え方を知り、自分を見つめ直したり改めて家族に目を向けたりする良いきっかけとなり、皆様のお役にたてたのであればいいなあと思っています。



編集後記

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。本号と次号で昨年行われた「子育てフォーラム」の様子をお伝えいたします。今年度もあおきっ子応援団のおもてなしがあ



り、リラックスしてから分科会に参加することができました。保小連携委員会と子育て委員会と5か条委員会の掲示を、当日、文化会館のロビーにしました。来年も多くの保護者の方、地域の方のご参加をお待ちしています。